

東議員（民主県政会）

令和4年9月26日

教育長 答弁実録

（教育委員会）

（問）本県公立学校における2023年度教員採用試験の受験状況について

本県の公立学校における2023年度教員採用試験について、校種ごとの教員志願者数及び倍率など受験状況と、それに対する見解について、教育長に伺う。

（答）

今年度実施しました教員採用選考試験の志願者数及び倍率につきましては、全体の志願者数は3,227人で前年度より347人の増、倍率は3.4倍で前年度より0.6ポイントの増となっております。

校種別では、

- ・ 小学校は、志願者数966人で倍率2.3倍、
- ・ 中学校は、910人で4.0倍、
- ・ 高等学校は、838人で5.1倍、
- ・ 特別支援学校は、182人で1.7倍

となっており、特に小学校の倍率は0.6ポイント、中学校は1.2ポイント増加しております。

県教育委員会といたしましては、志願者の確保のために

- ・ 教員志望の学生を対象に地域の魅力を発信する学校の実践や教員のやりがいなどを紹介する出前講義の実施、
- ・ 広島県の教育施策の説明や現職教員のインタビュー映像を上映し、本県教育の魅力を伝える採用試験説明会の開催回数の大幅な拡大、
- ・ 志願者が少ない中学校の4教科について大学等推薦特別選考の新設

などの取組を行ったこと、また、志願者数や倍率は、他の都道府県・指定都市との1次試験日程の重なりによって増減する傾向がある中、今回は重なりが少なかったことが、倍率が上昇したことの要因であると考えております。

今後とも、志願者確保のための取組を継続・拡大していくことで、一人でも多くの方に受験していただけるよう人材の確保に向けて取り組んでまいります。